

とやま

県広報とやま

2000

2月号

No.371

富山県



みんなで応援2000年国体

特集 知事対談 成功させよう! 2000年国体



県は、子どもたちが健やかに成長していくための施策に取り組んでいます。(12歳スノーキャンプに参加した子どもたち)

TOPICS [トピックス] 1

特集
知事対談
成功させよう! 2000年国体 3

CLOSE UP [クローズアップ]
ほっと、うれしい、道の駅 7

とやま感動案内 くらかいろう
城端町史館「蔵回廊」 9

地域をつくる仲間たち <人物カフェ>
県立大門高校国際環境サミットプロジェクトチーム 11

県政ミニガイド 13

行ってみよう情報 14

とやま音のある風景
田尻池の白鳥 15

12月 19日

思い出に残る
もてなしを

「ガンバツ亭」研修会

■2000年国体で選手・役員を家庭に受け入れる民泊の関係者などを対象にした研修会が、十二月十九日に富山市内で開催され、



民泊での思い出を語るKUROBEアクアフェアリーズの選手

約七百名が参加しました。民泊は、昭和三十三年の富山国体において全国で初めて本格的に導入された制度で、今回の国体でも真心のこもったもてなしが期待されます。研修会では、昨年開催された「くまもと未来国体」での民泊の様子をビデオで紹介。民泊を経験したKUROBEアクアフェアリーズ(バレーボール)の選手や県サッカー協会関係者から、温かい応援が試合でのエネルギーになった「新婚旅行で民泊家庭を再度訪れた選手もいる」などの体験談が発表されました。

また、この日は、国体イメージソング「あいの風吹くのリズム」に合わせた「あいの風吹くのリズム」も発表されました。今後、各種イベントなどで活用し、開催気運を盛り上げることになっています。

●問合せ
2000年国体富山県実行委員会事務局
☎076(444)9667

12月 25-31日

県民の遊び心に
火をつける!

2000年冬の火祭り

■とかく「暗い」閉鎖的といわれる県民性を打ち破り、県民の遊び心に火をつけることを目的にした「2000年県民が燃えるプログラム」のひとつ、「2000年冬の火祭り」が十二月二十五日と三十



冬の夜空を華やかに彩った花火(上) 思い思いのパフォーマンスを披露(左)

一日に富山市内で開催されました。

■二十五日の第一部は、富山駅北地域一帯での「パレード&パフォーマンス」。当日は、あいにくの雨模様にもかかわらず、二十五チーム、約五百人が参加。寒さを吹き飛ばす、熱いパフォーマンスが披露されました。続いて、レーザーやサーチライトなどを効果的に活用したパノラマ立体花火ショーが行われ、約七百発の花火が1000年代最後のクリスマスを彩りました。

■大晦日の夜に行われた第二部は、富山城址公園での「2000年カウントダウン」。参加者全員によるカウントダウンの後、新年を迎えるとともに花火が打ち上げられ、参加者は乾杯して、2000年という歴史的瞬間を一緒に迎えた喜びを分かち合いました。■今回の「冬の火祭り」は、普段味わえない楽しさ、面白さを追求した演出で、今までの富山にはない新しいスタイルのイベントをめざしました。今後、このよつな思いが県内各地に広がり、元気で明るい富山県のイメージづくりにつながっていくことが期待されます。

●問合せ 企画部計画課
☎076(444)9699

1月 9-22日

自然の厳しさを学んだ雪山での共同生活
十二歳スノーキャンプ

■子どもから大人への転換点ともいわれる十二歳小学六年生の子どもたちが、雪の里山で野外生活を体験し、自然の厳しさに触れながら、たくましく生きる力を身につけようという「十二歳スノーキャンプ in SATOYAMA」が一月九日、十日の一泊二日の日程で開催されました。

■一日目、立山少年自然の家に着いた参加者は、さっそく雑木林の中に入り、テントの設営やかまくらづくり。かまくらの中は、夕食をとったり餅を焼いて食べたりと、雪国ならではの生活を体験しました。

■二日目は、また暗い午前六時に起床。自然観察や炭焼がまの見学など、里山で古くから繰り返されてきた人間と動植物との共生を学びました。

■子どもたちは、今回の体験を通じて、自然の厳しさや大切さを感じ取るとともに、十二歳として大人へ



みんなでつくったかまくらの中で夕食

●問合せ
教育委員会生涯学習室
☎076(444)3436

シリーズ
とやま20世紀

1920 大正9年2月21日(土)

禍いを転じて工業立県の礎に
県営発電事業はじまる

この日、県が常願寺川水系で水力発電を行うための計画案が臨時県会で可決、全国初の県営発電事業が開始されることになった。急流河川が多い富山県では、昔から洪水が多く、県財政は治水事業の重圧にあえいでいた。県営発電事業は、治水事業のかたわら水力発電所を建設し、その電力で工場を誘致するとともに、収益を治水事業の財源にしようというもので、「治水」「産業振興」「財政再建」の一石三鳥を狙ったものであった。県内には、安くて豊富な電力を求めて工場の立地が進み、1942(昭和17)年には工業生産額全国九位となる。県営発電事業は、水禍を福に転じ、富山県を電源王国、そして日本海側有数の工業県へと発展させるうえで大きな役割を果たしたのである。



県営発電事業で最初に建設された中地山発電所

本誌は古紙100%の再生紙を使用しています。

3月 1日

瀬戸内海へ
ひとつ飛び

富山—広島西便

■富山から中国地方への初めての航空路線となる富山—広島西便が、三月一日から運航を開始します。(五月三十一日まで季節運航)

■広島西飛行場は、広島市の中心部まで車で約二十分。山陰、四国地方へのアクセスにも優れており、観光やビジネスに便利です。

■広島西の観光名所といえば、日本三景のひとつ「宮島」。また、世界遺産にも登録された原爆ドームのある平和記念公園も有名です。グルメ派の方なら、広島湾のカキや瀬戸内海でとれる新鮮な魚介類、そして、広島名物お好み焼きも見逃せません。

■さあ、あなたも水と緑が美しい国際平和都市「広島」へ足を運んでみませんか。同路線では、就航記念として往復料金が二十%割引となり、大変利用しやすくなっています。



富山—広島西便に使用されるフォッカー50



原爆ドームと平和記念公園

富山—広島西便の概要

運航会社/中日本エアラインサービス(株)
運行便数/1日1往復
運航ダイヤ(3月1日~5月31日)
富山発10:30→広島西着12:10
広島西発15:15→富山着16:45
運賃/大人片道 21,000円
(往復割引料金 33,600円)
予約先/☎0120-029-222
(全日空予約センター)

●問合せ 土木部航空対策室
☎076(444)3463



2000年国体富山県実行委員会事務局長
(県2000年国体局長)
米田 喜實雄

「ガッツ石動」は、ホッケー好きのママさん十二名が集まって結成したホッケーチームなんですが、年齢的に選手として参加するわけにはいかないものから(笑)……、今回はボランティアとして参加することになりました。昨年行われたリハール大会では記録係をやりましたので、その経験を生かして本番でも一層頑張ろうと、みんな楽しみにしてるんですよ。

「温かい気持ち」を表現しよう
司会 県民総参加で国体を盛り上げたものです。瀬戸さんが代表を務めておられる小矢部市のママさんホッケーチーム「ガッツ石動」の皆さんは、今回はボランティアとして参加されるわけですよ。

米田 「ガッツ石動」の皆さんをはじめ、たくさんの方々ボランティアとしてご協力いただき、心強い限りです。国体では、開・閉会式だけで約千七百、各競技会場では二万人を超える方にボランティアとして活躍いただくことになっています。特に、きらりんびっく富山では、ボランティアの果たす役割が非常に大きく、ボランティアなしでは成り立たないくらいなんです。そこで、県内の短大生、専門学校生を中心に約六〇〇名の皆さんを選挙団と常に行動を共にする「きらりんメイト」として、また、手話通訳や要約筆記といった専門ボランティアについても五五〇名の方を対象に研修を進めています。案内や誘導などを行う一般ボランティア

私がお手本として出たのは、今から三十年前、昭和四十五年の岩手大会なんです。当時は列車の便が悪くて、富山を午後一時過ぎに出発して盛岡に着いたのは深夜の午前二時でした。そんな時間なのに、駅にはボランティアの人たちが迎えに来ているんですよ。あれには本当にびっくりしました。大会期間中は、ずっと私たちに付きつきりで食事一緒、お土産を買いに行き時にも同行してくれました。自分の時間がほとんどないくらいに付き添っていただきまして、私も、ボランティアの人たちのおかげで大会が成功するんだって心から感謝したものです。瀬戸 私も、過去に国体に出場した時

第55回国民体育大会 あいの風 夢のせて
2000年とやま国体
●冬季大会 2月19日(土)～22日(火)
●夏季大会 9月9日(土)～12日(火)
●秋季大会 10月14日(土)～19日(水)
自分にチャレンジ、あしたにチャレンジ
第36回全国身体障害者スポーツ大会
きらりんびっく富山
10月28日(土)～29日(日)



イアも延べ五千名ほど募集することになっていますので、県民の皆さんには、ぜひ応募していただきたいと思えます。
※きらりんびっく一般ボランティア
◆業務内容/選手の案内・介助、会場サービス、情報誌の作成など
◆締切/二月二十九日(火)
◆申込先/富山県社会福祉協議会・富山県ボランティアセンター
☎076(432)6123

安田 ボランティアは、身体障害者スポーツ大会にとって本当に大切な存在なんです。私が選手として出場したのは、今から三十年前、昭和四十五年の岩手大会なんです。当時は列車の便が悪くて、富山を午後一時過ぎに出発して盛岡に着いたのは深夜の午前二時でした。そんな時間なのに、駅にはボランティアの人たちが迎えに来ているんですよ。あれには本当にびっくりしました。大会期間中は、ずっと私たちに付きつきりで食事一緒、お土産を買いに行き時にも同行してくれました。自分の時間がほとんどないくらいに付き添っていただきまして、私も、ボランティアの人たちのおかげで大会が成功するんだって心から感謝したものです。瀬戸 私も、過去に国体に出場した時



成功させよう! 2000年国体

- 出席者
- 瀬戸 洋子
小矢部市ママさんホッケークラブ「ガッツ石動」代表
 - 今井 愛子
スポーツアドバイザー(元オリンピック選手)
 - 安田 武志
富山県車椅子バスケットボールクラブ代表
 - 中沖 豊
富山県知事
 - 米田 喜實雄
2000年国体富山県実行委員会事務局長(県2000年国体局長)

今年の富山県は、ときめきと感動の舞台。「2000年とやま国体」の冬季大会、夏季大会、秋季大会、そして「きらりんびっく富山」と、一年を通じて熱戦が繰り広げられます。今回は、「成功させよう! 2000年国体」をテーマに、関係の皆さんをお迎えして、中沖知事と語り合っていました。

「2000年国体」は、「2000年とやま国体」と「きらりんびっく富山」の総称です。
「きらりんびっく富山」は、第36回全国身体障害者スポーツ大会の愛称です。

「いよいよ始まる感動のドラマ」
司会 待ちに待った2000年国体がいよいよ二月十九日に開幕ですね。知事 はい、2000年とやま国体は西暦2000年という新しい千年紀の年に開催される「ミレニアム国体」であるとともに、県内三十五市町村すべてを競技会場として、一年を通じて開催されます。また、きらりんびっく富山は、身体障害者の方々の国体というべきものです。これらの大会が、二十一世紀の国体のモデルとなるよう、また、本当に感動あふれる素晴らしい大会になるよう、全力を尽くしています。

司会 選手の皆さんには、ベストのコンディションで競技に臨んでいただきたいところですが、そのためにも、県民全員でバックアップしたいですね。知事 そうですね。国体には約三万人、きらりんびっくには約二千五百人の選手・監督が全国から来県されます。県民の皆さんには、「ようこそ富山へ」の気持ちで温かく迎えさせていただきますね。また、一人でも多く競技会場に足を運んでもらい、全国の選手を応援していただきたいですね。応援合戦なども、太鼓を打ち鳴らしたりして、にぎやか



冬季大会日程のご案内 (各競技はどなたでも自由にご覧になれます。)

競技等	日程	会場
スキー競技会開会式	2/19(土)	大山町営総合グラウンド等
クロスカントリー	2/20(日)~22(火)	栗東野特設クロスカントリーコース
スペシャルジャンプ	2/22(火)	富山県スキージャンプ場
ジャンプ	2/20(日)	富山県スキージャンプ場
コンバインド	2/21(月)	栗東野特設クロスカントリーコース
ジャイアントスラローム	2/20(日)~22(火)	権楽坂スキー場ジャイアントスラロームコース
バイアスロン(公開競技)	2/21(月)	上平タカボスキー場特設バイアスロン競技会場
スキー競技会閉会式	2/22(火)	大山町立社会体育館

※開会式は入場券をお持ちの方のみ入場できます。当日券はありません。
 ※スケート・アイスホッケー競技会は青森県で開催。



がんばれ、富山の選手たち!



富山県知事 中沖 豊

司会 国体では、富山県選手の活躍も気になるところです。知事は、競技力向上対策本部長でもあるわけですが……。

知事 富山県勢は、昨年の国体で男女総合七位という過去最高の成績を収めました。また、身体障害者スポーツ大会には各県対抗の総合優勝というものがありませんが、富山県勢は昨年の熊本大会で金メダル十三個とやはり過去最高の成績を収めました。

これは、選手の皆さんが日頃から一生懸命練習された結果でもありませんし、競技団体をはじめ、企業、学校など多くの関係者のご尽力のおかげでもあります。

2000年国体でも、富山県選手の大活躍を心から願っています。

今井 地元開催の国体で地元選手が日本一になるというのは、県内の選手にとって大きな励みになります。ぜひとも、富山県に「優勝」の二文字をもたらしてもらいたいですね。

プレベルにありますが、国体を契機に、さらに素晴らしいボランティアの県になり、県民の温かい心が、県内外にあまねく広がっていくようになってもらいたいですね。

富山県が飛躍するきっかけに

司会 最後に、2000年とやま国体と盛り上げつつ富山に向けた決意、あるいは抱負をお聞かせください。

米田 もう、二月十九日から冬季大会が始まるわけで、準備も大詰めを迎えています。選手の皆さんが十分に実力を発揮できるように、総力を挙げて取り組んでいきますので、ご支援をよろしくお願い致します。

司会 そして、国体の次にひかえているのが「きらりんびつ富山」です。安田 そうですね。全国七ブロックから強豪チームが集まって来るので大変レベルが高いんですが、まずは一勝をめざして頑張りたいと思います。県民の皆さんにも、ぜひとも熱戦をご覧くださいませ。

※全国身体障害者スポーツ大会
 障害者の自立と社会参加の促進を目的で開催される大会。昭和三十九年の東京オリンピックの際に行われた「東京パラリンピック」を契機に、国体の秋季大会を開催した都道府県で開催されるようになった。

国体の成果を引き継ごう

司会 2000年国体の成果をどう生かしていくかも大事な課題です。

今井 県内の各競技チームでは、競技力も向上し、国体に向かって大きな盛り上がりを見せています。国体の後も



瀬戸 私事で恐縮ですが、七月には鹿児島で、全日本家庭婦人ホッケー選手権大会があります。私たちのチームはいつもこの鹿児島に敗退していますが、今年は何とか宿敵鹿児島を破って優勝し、県内のホッケーチームが国体で活躍する弾みにしたいと思っています。

そして、国体本番では、「ガッツ石動」のメンバー一丸となってボランティア活動に取り組み、大会の成功を支えたいと思います。

安田 まず、きらりんびつ富山での初戦突破を目標に頑張ります。それと、これを機会に、車椅子バスケットのことを一人でも多くの人に知っていただけたらうれしいですね。

今井 国体というのは、勝利をめざして競い合う競技大会であるとともに、心温まる交流のイベントという面もあります。私も、瀬戸さんと安田さんと同



安田 武志さん(新潟県出身) 17歳の時、高校のクラブ活動中に事故にあい。和裁を学びながら身体障害者スポーツ大会の陸上競技などに出場。現在は朝日町の自宅で和裁業を営みながら、昭和55年に発足した「富山県車椅子バスケットボールクラブ」の代表として活躍中。

それが継続されて、みんながスポーツを楽しみつきつかけになってくれれば、うれしいですね。

瀬戸 小矢部市でホッケーが盛んになったのは、昭和三十三年の富山国体がつきかけなんです。

私自身、物心ついた時から「ホッケー」という言葉をいつも耳にする環境で成長し、自然と学童ホッケーのチームに加入しました。石動高校ではホッケー部に入って国体に出場し、現在もママさんホッケークラブと、ホッケーと共に歩む人生で、ホッケーを通していろいろなことを学びました。

2000年国体では、県内の三十五すべての市町村で競技が行われますので、ぜひとも、「わが町のスポーツ」が根づいて、未来につながる大会になってほしいですね。

米田 小矢部市のホッケー



じように、開催地の人々との交流が国体の思い出として残っていますので、今回は、選手をお迎えする県民の一人として、交流を深めたいと思っています。

知事 2000年とやま国体と盛り上げつつ富山での輝かしい成果、特に国体で男女総合優勝ができれば、これは本場に、県民が誇りと自信を高めるきっかけになると思いますので、選手皆さんには、ぜひとも頑張っていたくださいと思います。そしてそのためにも、県民の皆さんには絶大なご支援をお願いします。

また、国体が生涯スポーツや生活文化の振興につながるなら、これは、富山県が二十一世紀に向けて大きく飛躍する契機になります。今年辰辰辰は天空を翔るといわれますけれど、富山県が国体を通じて、大きく、本場に大きく飛躍していく年になればいいなあと心から願っています。



今井 愛子さん(熊本県出身) (旧姓:宮村) 国体バドミントン競技や全日本総合選手権で優勝、アトランタオリンピックにも出場するなど、日本を代表するバドミントン選手として活躍。男子バドミントンの今井彰宏選手(トナミ運輸)と結婚し、高岡市に在住。現在、スポーツアドバイザーとして活躍中。

のほかに、氷見市のハンドボールや高岡市のバドミントンのように、昭和三十三年の富山国体がつきかけで地域に根づいた種目があります。

今回の国体でも、カヌーの上市町、アーチエリーの宇奈月町などで、そういう動きが期待できます。

知事 国体は、県民が総力を挙げて取り組む素晴らしいスポーツの祭典ですが、このような成果を一過性のものにするのではなく、ぜひとも未来に引き継いでいかなければなりません。

スポーツ施設もずいぶん立派になりましたし、指導者や選手も数多く生まれました。県民の皆さんには、このような施設をどんどん活用していただいで、素晴らしい指導者のもとに、生涯を通じてスポーツに親しみ、健康に暮らしていただいでほしいと思います。

また、国体では、県外からの選手・関係者をみんなで温かく迎える県民運動が展開されますので、こうした運動の成果も引き継いでいきたいと思います。富山県は現在、ボランティア活動で全国トッ

司会 国体の開幕まであとわずか。県民全体で盛り上げて、本場に大成功の大会にしていきたいですね。

今日は、ありがとうございます。

この対談は、一月二日に富山テレビで放映されたものを要約したものです。



司会/富山テレビアナウンサー 森 和彦

●大会についてのお問い合わせは
 ハローダイヤルで
 ハローダイヤル(9時~20時)
 TEL076(431)8600
 または#8080(ラッシュ回線のみ)
 ホームページもご利用できます。
 http://www.pref.toyama.jp/kokutai/

10 福光なんと一福茶屋 (国道304号)

豪農屋敷風の道の駅でちょっと一服

みどころ
木彫り実演コーナー/9:30~18:30
※伝統の技が冴える福光彫刻の実演
お土産 米菓、柿加工品、ドジョウのかばやき
EVENT ふくみつ桑山里あかり
2/11 19:00~(雨や風の場合、順延)
※灯火をつけた巨大な和紙風船が、冬の夜空を舞う幻想的な行事

福光美術館、光徳寺、愛染苑

福光町中ノ江16
☎0763(52)4100

9:30~21:00 ⑧火曜 9:30~18:30 ⑧第1・3火曜

7 利賀 (国道471号)

豊かな自然と人情がお出迎え

お土産 手打ちそば、山菜、清流そうめん、赤かぶ漬物
⑧ 瞑想の郷、そばの郷、飛翔の郷

利賀そば祭り期間中(2/11~13)は、当駅でも、岩魚の塩焼き、とうふの田楽、とちもち、山菜料理などでおもてなし。

利賀村高沼
☎0763(68)2922

9:00~19:00 ⑧第2・4木曜 9:00~19:00 ⑧第2・4木曜

11 上平(ささら館) (国道156号)

古き伝統の山里

みどころ
上平電源館/8:30~17:30
※発電所のしくみ等の展示
お土産 山菜、赤かぶ、木工品、五箇山とうふ
⑧ 世界遺産「菅沼合掌集落」、塩硝の館、五箇山民俗館、国重要文化財「岩瀬家」

レストランでは、スタッフ自ら奥山で採ってきた山菜や山菜そば、名物のイワナ寿司が好評です。

上平村西赤尾町72-1
☎0763(67)3141

10:00~20:00 ⑧火曜 8:30~17:30 ⑧火曜

8 細入 (国道41号)

飛越のかなめ「細入村」

みどころ ふれあい公園
※トンネル迷路、大型すべり台などの遊具を無料開放
お土産 らっきょう漬(5種)、山菜昆布、古代米アイス
⑧ 県定公園神通峡、神通峡岩窟温泉(栄今日館)、割山森林公園大湖森

5月~11月は毎日、朝市(100円市)を開催

細入村片掛字宮の前3-5
☎076(484)1815

8:00~21:00 ⑧火曜 9:30~18:00 ⑧火曜

12 氷見 (国道415号) NEW 4月下旬オープン

きときとの魚と海ごしに見える立山連峰

みどころ
氷見フィッシャーマンズワーフ海鮮館
お土産 きときとの魚、水産加工品、氷見うどん、地ビール
⑧ 比美乃江大橋、氷見市海浜植物園、湊川リバーウォーク(忍者ハットリくんのカラクリ時計など)

氷見市中央町(氷見漁港内)
☎0766(74)7100

7:00~21:00 (店舗により異なる) ⑧火曜 8:30~18:00

レストラン・売店とも営業時間は予定です。

9 たいら (国道156号)

自然と生きる和紙の里

みどころ
和紙体験館、和紙工芸館、「やま」との対話館、平村郷土館/8:30~17:00 ※無休
お土産 山菜、とちもち、そば、五箇山とうふ
⑧ 世界遺産「相倉合掌造り集落」、国重要文化財「村上家」、天然温泉「ゆ〜楽」、こきりこ唄の館

紙すきの実演コーナーや体験コーナーもあります。

平村東中江215
☎0763(66)2403

9:00~20:00 ⑧火曜 9:00~20:00

とやまの道、もっと楽しく、わかりやすく

県では、県外ドライバーにも県内の主要な観光地や施設へ「気軽にチョット」立ち寄っていただけるように、道路標識をわかりやすく整備する「チョットよってかれ!」計画を、国や市町村と一体となって進めています。

特に、主要な道路の県境や市町村境界にある境界標識には、県や市町村の特徴が一目で分かるイメージ図をデザインするなど工夫を凝らしています。

2000年国体には、全国からたくさんの方が来県されます。もてなしの心を込めた標識が、県や市町村のイメージアップにつながることを期待されます。



ほっと、うれしい道の駅



ドライブの途中にほっと一息。「道の駅」は、24時間利用できる駐車場、トイレ、公衆電話を備えた「一般道路のサービスエリア」、そして、地域の特産品や味覚との出会いがうれしい「交流ステーション」です。今月号のクロスアップは、知っておくと便利、県内の「道の駅」をご紹介します。



4 砺波 (国道156号)

花咲くチューリップ公園の入口

みどころ
チューリップ四季彩館/9:00~18:00
⑧ 水曜、第3木曜
※一年中チューリップが見られる博物館
砺波市美術館/10:00~18:00
⑧ 月曜、第3火曜
お土産 チューリップグッズ(クッキー、せんべい)、ハンカチ、フローチ、香水、せっけん
⑧ 砺波郷土資料館、エレガガーデン

チューリップグッズなら、おまかせください。

砺波市宮沢町3-9
☎0763(32)9911

10:00~18:00 ⑧火曜 9:00~18:00

1 うなづき (県道黒部宇奈月線)

黒部川の名水でつくられた地ビールが楽しめる

みどころ うなづき友学館(歴史民俗資料館)
9:30~18:00
⑧ 月曜、祝日の翌日、毎月末日
※日本三奇橋と呼ばれた壺本坊橋の復元模型を展示
お土産 宇奈月ビール、宇奈月ビールゼリー
EVENT 地ビール祭り 2/20 11:00~15:00
⑧ 宇奈月温泉

レストラン「宇奈月麦酒館」はビール工場見学もできるレストラン。ランチバイキング(11:00~14:00)も好評です。

宇奈月町下立687
☎0765(65)2277

11:00~21:00 ⑧火曜 11:00~21:00

5 庄川 (国道156号)

県定公園「庄川峡」の景観をバックにした道の駅

お土産 ゆず加工品(クッキー、だんご、ゆず味噌、ゆず茶)、しいたけからし
庄川町水記念公園、庄川温泉郷、県定公園庄川峡

240名を収容できるホールは、団体旅行の食事のほか、各種イベントや結婚披露宴にもご利用いただけます。

庄川町示野437
☎0763(82)5400

9:30~21:00 ⑧火曜 9:00~21:00

2 ウェーブパークなめりかわ (県道富山魚津線)

海のエメラルド ほたるいかの光がまぶしい

みどころ
ほたるいかミュージアム/9:00~17:00
⑧ 火曜(祝日の場合は翌日)
※3/20~5/31は無休
深層水体験施設「タランピア」
10:00~20:00(金・土曜と祝前日は22:00) ⑧ 火曜(祝日の場合は翌日)
お土産 海産物(ほたるいか、甘エビ、蒲鉾など)

滑川市中川原
☎076(476)9300

※レストラン、売店は3/20~8/31は無休

11:00~22:00 ⑧火曜 9:00~17:00 ⑧火曜

6 井波 (国道471号)

日本一の木彫刻の町、匠の技とふれあえる

みどころ
井波彫刻総合会館/9:00~17:00
⑧ 第2・第4月曜
※欄間をはじめとする木彫りの芸術品を展示
お土産 井波彫刻、木工クラフト、ほうきんの実
EVENT いなみアイスフェス 2/4~6
お土産 木の香浴泉「ゆら湯ら」、くりえーと工房(木彫り体験)

木彫刻の実演コーナーや彫刻体験コーナー、露天風呂、公園などがあり、一日ゆっくりと楽しめます。

井波町北川1730
☎0763(82)5757

11:00~20:00 ⑧第2・4月曜 9:00~17:00 ⑧第2・4月曜

3 カモンパーク新湊 (国道8号、472号)

庄川と小矢部川がそそぐ港町 新湊の陸の玄関口

みどころ 新湊市博物館
9:00~17:00 ⑧ 火曜
※江戸時代の地図や測量器具を展示
お土産 蒲鉾、イカの黒づり、白エビ、ほたるいか加工品
EVENT 新湊曳山ミニチュア総展 2/2~4/9
⑧ 測量公園、海王丸パーク

レストランでは、新湊の美味しいコシヒカリと海の幸を使用した「道の駅御膳」や「白エビかき揚げ丼」が好評です。

新湊市鏡宮296
☎0766(84)4649

10:00~21:00 ⑧火曜 8:00~21:00



隣接する「城端曳山会館」には、城端曳山祭の傘鉾、庵屋台、曳山などが展示されており、荒木和助がつくった御神像を実際に見ることができる。城端に花開いた文化の豊かさが実感できる。



2階の吹き抜けは、ガラス、金属、木という異素材が融合した明るい光の空間。ガラスの手すりのラインは、善徳寺山門に彫刻された龍をイメージしている。

町の記憶を、蔵は語りかける。 美しい回廊をめぐる、先人を思う。

越中の小京都の歴史が息づく。

城端町史館
「蔵回廊」



土蔵扉前の1階回廊。奥が1の蔵で、手前が2の蔵。土蔵外壁の模様は、持ち主だった野村家の家紋をデザインしたものだ。



土蔵内部を使った1階展示室。2つの蔵が続いている。先人の足跡、城端町の史料などが展示されている。



荒木和助作の水差し。



城端焼の創始者、荒木和助の自画像。曳山の御神像を彫っている自分を描いたもの。



享保11年(1726年)の「城端絵図」。山田川と池川の2つの川に囲まれた高台に、善徳寺を中心として町が形成されている。



土蔵2階は、3つの蔵をつきぬけた回廊となっている。柱や梁などの構造体が露出した力強い空間。



土蔵の壁は7層に塗られ、厚さは25cm以上。展示室では断面も見ることができる。



芭蕉の門人、八十村路通が、元禄8年(1695年)に城端を訪れて詠んだ句集「城端十景」が展示されている。



土蔵の背面は、従来の姿をそのまま再現したもの。門前町としての城端の風情が感じられる。



外観正面。2つの河川による自然の地形と田畑が連なる格子状の地形をモチーフにした幾何学的ラインで構成されている。

蔵回廊

明治36年頃に城端町の豪商野村理兵衛が建造した土蔵群を、修復再生して「城端町史館」とした。蔵回廊は愛称。県の「まちのかおづくり事業」で、2人のイギリス人建築家が設計し、平成5年に完成した。「過去と未来を結ぶコントラストの空間」をテーマとして、本来の構造を残した土蔵を、ガラスやフレームを使用した近代的な回廊で結んでいる。「城端曳山会館」と隣接しており、入館料は共通となっている。

営業時間/午前9時～午後5時
入館料/大人410円、小人200円
(城端曳山会館入館料を含む)
休業日/年末年始
問合せ/☎0763(62)4060

■電車で
JR城端線城端駅下車 徒歩15分
■自家用車で
東海北陸自動車道福光ICから車で5分

蔵回廊からプレゼントがあります。詳しくは13ページをご覧ください。



過去と未来という、コントラストのある空間。真っ白な壁と磨き上げられた木の床。蔵回廊に入ると、まず、この対比が目に見え込んでくる。豪商の土蔵を回廊で結び、再生した建物だが、ただ修復しただけではない。さまざまなコントラストのある空間になっている。「ガラスの天井を持った光の回廊と、薄暗い土蔵の内部」「細く繊細な金属やガラスの手すり」と、太くがっしりした柱や梁、建物の外観も、正面はモダンな現代建築、背面は伝統的建築という二つの様式を持っている。ここでは、光と影が織りなすように、過去と未来が共鳴しているようだ。時を刻んだ土蔵入口の石段を上がり、中へ入ると、内側に板戸・格子戸・障子戸の三枚が重なる。厚い壁や格子の窓など、かつての面影を感じながら、土蔵の構造も知ることができる。蔵回廊は、土蔵自体がひとつの展示物になっているのである。

豊かな町の歩みをたどる。

城端は、善徳寺の寺内町として開けた。江戸時代には、市場町・門前町として栄え、特産の城端絹は京へと運ばれていた。一の蔵の展示室には、町の歴史や史料などが紹介され、五箇山との交易でも栄えた江戸時代の城端を垣間見ることができる。絹と交易による豊かな経済力を背景に、文化や芸術が生まれ、やがて越中の小京都といわれる情緒あふれる町となっていた。

多芸多才な先人たちと、その作品の世界。

二の蔵の展示室には、城端時絵の小原治五右衛門や天文学者の西村太冲らが紹介されている。城端時絵は、漆では不可能とされていた白色を独自の技法で実現し、一子相伝により継承されてきた。ここでは、和歌や俳諧、絵画にも優れ、江戸中期に活躍した八代目小原治五右衛門が取り上げられている。西村太冲は、城端の商家に生まれた天文学者。八代目治五右衛門と親交があり、オランダ語などを教授している。

また、京都で楽焼を修行し、城端焼を創始した荒木和助の作品も展示されている。絵や彫刻にも秀で、曳山の御神像は和助が制作したものという。いずれも多彩な才能の持ち主で、このような芸術家や学者が生まれたことが、城端という町の豊かさや懐の深さなのだと思わせられる。

城端を語る時、その舞台には蔵がふさわしい。町人たちの心意気、町の移り変わりを、蔵は見つめ、記憶にとどめてきた。静かな蔵の空間のなかで紹介される城端の歴史。そこにはさまざまな時と思いが満ちている。



環境や世界のことが自分のなかで、何かが変わったと思う。

リーダーの関岡貴志さんはチームのまとめ役。帰国後はみんなで、活動の内容と研究の成果をまとめ、英文のホームページも作成した。

人物cafe



地域の環境問題に取り組み、高校生による国際環境サミットに参加した。

県立大門高校 国際環境サミット プロジェクトチーム

昨年九月二十九日から六日間、オーストラリアのパーズで「第二回高校生による国際環境サミット」が開かれ、日本からは大門高校の生徒二十名が参加した。このサミットは、世界の高校生が環境問題について意見を交換するもので、アメリカの高校教師がインターネットで各国に呼びかけて始まった。大門高校は、平成九年の第一回から参加している。二回目となる今回は、地域に密着した環境をテーマに発表、各国の高校生たちと交流した。



全体会議での研究発表(上)と分科会の意見交換(中)。初日には、オーストラリアの自然の考え方を学んだ(下)。

環境は、身近なところから。

「高校生による国際環境サミット」は、世界の高校生が環境問題への解決策を考え、国際的な理解や地球環境への関心を高めようというもので、二年に一度開催され、各国の高校生が研究してきたテーマをもとに、全体会議や分科会などを行う。

大門高校では、今回のサミットの一年ほど前からプロジェクトチームをつくり、「地域からできる環境問題」をテーマに、活動を開始した。

「身近なところのできる取り組みを通して、わかったことを発表しよう」と決めました」と語るのは、プロジェクトチーム代表の関岡貴志さん。メンバーは、庄川の水質調査やゴミ処理施設の見学、廃油を利用した

PROFILE

メンバーは、1年生から3年生までの20名。地域における環境への取り組みを自分たちで考え、実践している。水・ゴミ・緑の3つの班があり、全員で集まるのは週2回だが、ほとんど毎日、調査や研究を行い、忙しい日々を送っている。インターネットで海外の高校生と意見交換するのも大事な活動。チームワークもよく、明るく楽しい雰囲気で行っている。



石鹸づくりやゴミの分別収集などに取り組んだ。また、わりばしの回収をしている製紙会社を調べたり、自分たちでケナフを栽培してみたりした。**さまざまな環境問題と意見に出会う。**

今回のサミットには、アメリカやイスラエルなど五カ国の高校生が参加した。初日には、オーストラリアの環境大臣主催の夕食会に出席、同国のサミットに対する意気込みを感じ、緊張が高まる。

全体会議の研究発表で、大門高校の生徒たちは、自分たちが取り組んだ地域活動について発表した。ほかの国の高校生たちからは「エコツリーズム」や「湿地帯をどうするか」



帰国後には自分たちの成果をパネルで発表した。

サミットが生徒たちにもたらしたものは大きい。毎日の授業では学べないもの、総合的なものを、彼らはこの六日間で得ることができた。

今回のサミットは、大門高校が主催校に決定した。参加校も増える見込みだ。「後輩たちには、成果を受け継いでがんばってほしい」と関岡さん。地元開催となることで、今回の成果が、より多くの生徒たちと地域の人々へと広がっていくことだろう。

※ケナフ

アオイ科の一年草。成長が非常に早く、木材に代わる紙原料として、注目されている。

※プレインストミニング

メンバーが自由にアイデアを出し合い、連想によって発展させていく発想形式。

※ディベート

一つのテーマについて肯定側と否定側に分かれ、一定のルールに従って討論する形式。



河川敷のごみ調査と廃油で作った石鹸。

今回は、大門高校が主催校。

「参加してすぐく視野が広がったし、環境についても深く考えるようになりました」。関岡さんはじめメンバーは声をそろえる。

●問合せ/県立大門高校

0966(06)15071
http://www.daimon-h.tym.ed.jp

近代美術館

富山市西中野町1-16-12
TEL 076(42)7111

セゾン現代美術館 コレクション展
「20世紀一時代の証言」
【2/18(金)~4/2(日)】
国内外の現代美術を概観できるセゾン現代美術館のコレクションの中から代表作約80点を展示。
一般 900円/高・大 650円/小・中 450円

9:30~17:00 月曜(2/21、3/20は開館)・祝日の翌日、2/7~14(臨時休館)
常設展示観覧料 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



立山博物館

立山町声野寺93-1
TEL 076(46)1216

チベットマンダラ恒例展
【2/19(土)~3/20(祝)】
これまで当館が収蔵してきたチベットマンダラを公開します。展示館の観覧券で入場できます。

山岳映像イベント'99
【2/26(土) 14:00~】入場無料
カラコルム・ヒンズークシ探検の記録の映画とトーク会場/県民小劇場オルビス(富山駅前マリエフ)

9:30~17:00 ※まんだら遊覧は、3月末まで休館です。
月曜(2/21、3/20は開館)・祝日の翌日(2/12は開館)
展示館 一般 300円 高・大 240円 小・中 150円
遊覧館 一般 100円 高・大 80円 小・中 50円



とやま健康パーク

富山市友杉1-15-1
TEL 076(42)9000

親子実験教室 -脂質(油)の秘密-
【2/20(日) 14:00~15:00】要申込
天ぷら油を再利用したセッケンづくりなど、「脂質」の秘密について学習します。

産後ママのための健康づくり教室
【第1・3・5水曜 10:20~11:50】
エアロビクスを取り入れた健康づくり
1,200円(入館料込) ※託児あり(無料)

月曜(3/20は開館)、3/21
健康スタジアム 10:00~22:00(日・祝は19:00まで)
1日 1,800円/2時間半 1,500円/1時間 1,000円



中央植物園

婦中町上野田42
TEL 076(46)4187

企画展示「雲南温室完成記念展」
【2/18(金)~3/8(水)】サンライズホール
雲南温室のオープン(2/18)を記念して雲南省の植物を紹介します。

日曜植物案内
【3/5(日) 11:00~12:00】要申込

一部の温室は、点検・整備のため入室できません。なお入園料は通常の半額です。
9:00~17:00 木曜・祝日の翌日(2/12は開館)
一般 300円 小・中 150円



ウッドリウム富山

小杉町黒河新494-0
TEL 076(45)1570

趣味の木工教室(組み木編)
【2/13(日) 9:00~】要申込
組み木で、ひな人形を作ります。
材料費1,200円

(カントリー編)
【3/5(日) 9:00~】要申込
カントリー調にウッドシェルブ(棚)を作ります。
材料費2,000円

9:00~16:30 火曜
一般 220円 小・中 110円
(工作室を使用する場合)



高岡文化ホール

高岡市中山園町13-1
TEL 076(44)4141

じっくり聞こう日本の話芸 -落語-
【2/19(土) 18:30~】
日本特有の話芸「落語」を春風亭柳昇一門が披露。
出演/春風亭柳昇、小柳枝、昇太ほか
前売3,000円(当日3,500円)

鮫島有美子ソプラノリサイタル
【3/27(月) 19:00~】
S席 4,000円/A席 3,000円
(当日各500円高)



水墨美術館

富山市五福7-7-7
TEL 076(43)3719

「日本の山水-下保昭展」
【2/22(火)~3/26(日)】
独自の技法で深遠な自然を追求する下保昭氏(防波市出身)の近年の画業を紹介します。
一般 700円/高・大 500円/小・中 350円

9:30~17:00
月曜(2/21、3/20は開館)・祝日の翌日
常設展示観覧料(展示室以外は無料)
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



立山カルデラ砂防博物館

富山地方鉄道立山駅前
TEL 076(48)1160

国体開催記念 写真展「自然に学ぶ」
【2/10(木)~2/29(火)】
県内外の自然解説員による、自然の素晴らしさ、大切さを撮影した写真展。

フィールドウォッチング「立山の雪を体験しよう」
【2/20(日) 14:00~】要申込
積雪の観察や雪の結晶づくり。

9:30~17:00 2/1~5は臨時休館
月曜(2/21、3/20は開館)・祝日の翌日(2/12は開館)
一般 400円 高・大 320円 小・中 200円



こどもみらい館

小杉町黒河(太閤山ランド)
TEL 076(46)9000

ザッツ・エンターテインメント
人形劇やお手玉などのショーを楽しめます。
【2/20(日) 13:30~】人形劇団「とんと」
【2/26(土) 14:30~】ジャグラー「モン太郎」
【2/27(日) 13:30~】人形劇「丹下進オフィス」
【3/5(日) 13:30~】人形劇団「トロッコ」

9:30~17:00
火曜・第4水曜・祝日の翌日(2/12は開館)、2/14
入館無料(3月までは駐車場も無料)



県民公園太閤山ランド

小杉町黒河4774-16
TEL 076(46)6116

第9回冬の親子ふれあい大会
【2/11(祝) 9:00~13:00】要申込
親子で楽しみ、ふれあいを深めるいろんなゲームをします。

9:00~17:00
火曜・祝日の翌日(2/12は開館)、2/14
入園無料(3月までは駐車場も無料)
※日・祝と第2・第4土曜日には園内無料バスも運行しています。



海王バードパーク

新湊市海王町15
TEL 076(82)5881

「探鳥会と講演の集い」
【3/5(日) 8:30~12:00】
カモ類を中心とした冬鳥の観察と鳥に関する講演会です。

2月 9:00~16:00、3月 9:00~17:00
月曜(3/20は開館)・祝日の翌日(2/12は開館)
入園無料



県民小劇場オルビス

富山駅前マリエフ
TEL 076(45)4531

オルビスと巡る「舞台芸術・芸能一発見ライブ」
Vol.16 即興ダンスっておもしろい!
【2/11(祝) 18:30~】
出演/若下徹

ダンスワークショップ
【2/12(土) 14:00~17:00】
ダンスは初めてという方もお気軽にご参加ください。

ともに3,000円



編集部から

▼年末から暖かい日が続いたため、12歳スノーキャンプの担当者は雪中キャンプの場所探しに苦労。林の中を探し回ってようやく表紙の場所を見つけたそうです。
▼日々の生活では雪がないのが何よりですが、全くないという物足りない。せめてスキー場には雪がたくさんあってほしいというのが、最近、運動不足で、おなまわりが気になる編集者の率直な感想です。

県広報とやまの各世帯配布版(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。通常版(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。
※購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。
あて先
〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

10月号プレゼント当選者

■グリーンパーク吉峰「ゆーランド」ペア入浴券
栗山祐輔さん(富山市)、沢谷映子さん(富山市)、酒元恵津子さん(氷見市)、高田和弘さん(小矢部市)、北野勉さん(福野町)
正解は「中国、モンゴル、韓国、(日) (心) (ア)」でした。

11・12月号プレゼント当選者

■井口文秀の絵本
藤田要子さん(富山市)、七間章江さん(新湊市)、吉倉尚幸さん(小矢部市)、川原由紀子さん(小矢部市)、堀伸子さん(井口村)
正解は「②回」でした。

ご存じですか? — 県政ミニガイド —

4月からチャイルドシートが義務付けられます。

4月1日から、6歳未満の子供を乗せて自動車を運転する場合、チャイルドシートの使用が義務付けられます。調査によると、チャイルドシートを使用していなかった場合の事故による死亡率は、使用していた場合の4倍以上にのぼっています。チャイルドシートを取り付けて安全運転に努めてください。

違反した場合、罰則や反則金はありませんが、行政処分の点数1点が付加されます。



※「急病などで病院に向かうとき」、「幼児の負傷や障害のためチャイルドシートの使用が適当でないとき」、「バスやタクシーに乗車するとき」など、一定の場合には、チャイルドシートの使用が免除されます。

◆チャイルドシートは、成長に合ったものを使いましょう。

乳児用ベッド・シート	幼児用シート	学童用シート
目安:首がすわる頃まで	目安:首がすわってから4歳頃まで	目安:4歳頃から
		
※寝かせておけるタイプ		

各地区の交通安全協会では、チャイルドシートの無償レンタルを行っています。詳しくはお問い合わせください。

●問合せ・ご意見は、警察本部交通企画課まで
☎ 076(441)2211(代)

とやまの情報お伝えします! [2月の県政番組]

※タイトルは、いずれも仮題です。

<p>こんにちは富山県です 北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00~11:30</p> <p>6日 ふるさと探訪(利賀村) 13日 民芸品・とやまの技 20日 花と緑で冬を彩る 27日 冬季国体</p>	<p>富山見たモン勝ち チューリップテレビ 第4日曜 10:00~10:52</p> <p>27日 密着スキー場 24時間</p> <p>とやま県間録 FMとやま 毎週月曜~木曜 11:30~11:40 毎週土曜 11:30~11:55</p>
<p>とやま超発見! 富山テレビ フォーカス・イン2 毎週日曜 9:00~9:30</p> <p>6日 とやまの名工 13日 冬季国体 20日 とやまの「そば」事情 27日 江戸時代のとやま</p>	<p>このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。</p> <p>■新聞広報「県からのお知らせ」 2月12・26日に掲載</p> <p>■富山県ホームページ http://www.pref.toyama.jp/</p>

県政クイズ 応募お待ちしております。

今年の10月28日~29日に開催される、第36回全国身体障害者スポーツ大会の愛称は、何でしょうか。

「○○○○○○○富山」とお答えください。
→答えは特集を読めばわかります。

■応募方法

八ガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業と、本誌の感想・入手方法を記載。
あて先/〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課「県広報とやま2月号」クイズ係
締切/3月10日(消印有効)
正解者の中から5名の方に、9・10ページで紹介した蔵回廊の、ペア入浴券(城端曳山会館と共通)と民芸品のミニ深靴をプレゼントします。

■お詫びと訂正 11月・12月号の人物カフェで紹介した加須栄教子さんのプロフィールで、「高岡市総合計画策定委員」とあるのは、「高岡市総合計画審議会委員」の誤りでした。3月号(通常版)は、3月上旬に発行予定です。



